

令和6年度事業報告

令和6年度事業推進上の基本方針

「瀬戸内海環境保全協会」の設立趣意を踏まえつつ、次の方針のもと事業を展開する。

「瀬戸内海の環境保全・創造」に関する活動拠点、瀬戸内海の各種対策のコーディネータとして、

(1) 瀬戸内海の環境活動、環境学習に関する指導者のネットワーク構築、教材等作成提供

(2) 瀬戸内海の栄養塩類や生物多様性等新たな課題に対する調査研究

(3) 瀬戸内海に関する各種情報、データの収集・発信

の中心的な役割を目指して事業を進めることとする。

また、事業実施にあたっては、瀬戸内海に関係する府県市、漁業団体、環境衛生団体の緊密な連携のもと、新たな水環境の考え方の一つである「(森・川・海の)流域管理」や「里海」をキーワードとしながら、環境省や瀬戸内海環境保全知事・市長会議、瀬戸内海研究会との連携をさらに密にし、豊かで美しい瀬戸内海を後世に継承していくための事業展開を図っていく。

I 事業

1 瀬戸内海の環境保全・創造に関する普及啓発、活動支援及び情報収集・提供

(1) 普及啓発・活動支援

① 令和6年度瀬戸内海環境保全月間の実施

環境省が毎年6月に実施する「環境月間」にあわせ、国、関係府県市、関係各種団体、関係企業などとの連携・協力のもとに、瀬戸内海の保全に関する広域的なキャンペーン活動を展開した。

期間：令和6年6月1日（土）から30日（日）までの1ヶ月間

主唱：公益社団法人瀬戸内海環境保全協会

後援：環境省

実施主体：関係府県市、関係各種団体、関係企業等

実施内容：

- ・「瀬戸内海環境保全月間」の広報
- ・「瀬戸内海環境保全推進ポスター」の配布・掲出
- ・普及啓発用リーフレット・グッズ等の配布
- ・パネル・絵画・写真の展示
- ・環境保全に関する講演会、研修会等の開催、協力
- ・水辺、浜辺での自然・生物観察等「自然観察会」の開催、協力
- ・河川、海岸等のクリーンアップ、植樹等の地域美化活動の実施
- ・河川、海域での水質・生物調査、環境パトロールの実施

ア 瀬戸内海環境保全推進ポスター事業の展開(昭和52年度～)

瀬戸内海の環境保全意識の高揚を図るため、次の事業を実施した。

1) 令和6年度瀬戸内海環境保全推進ポスターの配布・掲示

令和5年度に公募し、選定された最優秀作品を令和6年度瀬戸内海環境保全推進ポスターとして作成し、瀬戸内海環境保全月間に合わせて関係機関に配布して、瀬戸内海環境保全月間以降も広く掲示した。

なお、最優秀作品、優秀作品については定時総会で表彰した。

・配布枚数：3,600枚

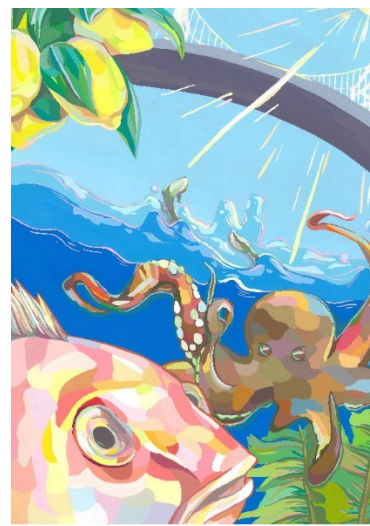
〔令和6年度瀬戸内海環境保全推進ポスター〕



最優秀賞 中村 瑠音(高校生)
(大阪府大阪市)



優秀賞 武智 康二(小学生)
(愛媛県伊予市)



優秀賞 釜野 瑚雪(高校生)
(香川県高松市)

令和6年度定時総会での表彰



令和6年度定時総会会場での記念撮影
左から服部洋平(兵庫県副知事)、武智康二(優秀賞)、釜野瑚雪(優秀賞)、滝沢 求(環境副大臣(当時))



令和6年度定時総会会場入口付近のポスター原画の前での記念撮影
左から服部洋平(兵庫県副知事)、武智康二(優秀賞)、釜野瑚雪(優秀賞)、滝沢 求(環境副大臣(当時))

2) 瀬戸内海環境保全推進ポスター原画の展示（平成22年度～）

定時総会にあわせて原画展を実施するとともに、一般の方に一人でも多く瀬戸内海に関心を持ってもらうことを目的に協会が保有している瀬戸内海環境保全月間ポスター入選作品の原画を展示し、環境保全の啓発を図った。

令和6年度瀬戸内海環境保全推進ポスター原画展の実施状況

	期 間	開 催 場 所	所 在 地
①	R6. 7. 19～7. 24	呉市中央図書館	広島県呉市
②	R6. 7. 20～8. 25	タカミヤ環境ミュージアム (北九州市環境ミュージアム)	北九州市八幡 東区
③	R6. 8. 9～9. 1	四国水族館	香川県綾歌郡 宇多津町
④	R6. 10. 29～11. 10	神戸海洋博物館	神戸市中央区
⑤	R6. 11. 22	広島県公衆衛生大会	広島県竹原市



①呉市中央図書館



②タカミヤ環境ミュージアム



④神戸海洋博物館

3) 令和7年度瀬戸内海環境保全推進ポスター募集・選定（平成11年度～）

令和7年度瀬戸内海環境保全月間に向け、ポスターの原画を募集し、入選作品を選定した。

- ・ 作品募集期間：令和6年6月1日（土）～11月30日（土）
- ・ ポスター選定委員会の開催：令和7年2月28日（金）
- ・ ポスター応募数：一般部門 326件 こども部門 182件 総数 508件

②瀬戸内海環境保全への支援

ア 「里海づくり」支援事業の展開(平成23年度～)

地域住民等に対する瀬戸内海の環境保全意識の啓発、理解及び活動参加の推進を図るため、会員府県市が実施する人と自然が共生する「里海づくり」に係る環境学習事業や環境ボランティア人材育成事業に対し、資材（水生生物下敷、水質パックテスト等）を提供し支援を行った。

- 支援対象事業 ①自然観察会や子どもたちを対象とした体験的学習
②環境ボランティアの人材育成事業
③海洋プラスチックごみ対策に係るセミナー等のイベント
(① ②とは別枠で助成)

支援府県市：12府県11市（5年度は13府県16市、4年度は12府県17市）

事業実施期間：令和6年7月1日（月）～令和7年2月28日（金）

イ 環境保全事業への支援（昭和52年度～）

環境衛生団体や漁業団体が取り組んでいる浜辺の清掃や環境美化等、各種環境保全・創造活動事業に対し、その活動費用の一部を助成した。

（これとは別枠で海洋プラスチックごみ対策に係るセミナー等のイベント経費も助成）

助成申請団体数：4環境衛生団体、6漁業団体

事業実施期間 令和6年4月1日（月）～令和7年3月31日（月）

③環境保全研修の実施

ア 瀬戸内海環境保全トレーニングプログラム研修の実施（平成10年度～）

瀬戸内海を豊かで美しい海にするためには、様々な環境技術の継承や知識が求められており、新たに水環境保全業務に従事する職員を対象に、瀬戸内法や環境技術等、瀬戸内海の新たな取り組みについて研修を行った。

日時	令和6年10月21日（月）～10月23日（水）
場所	愛媛県今治市 今治市民会館
参加人数	23名（10府県13市）

・講義

「瀬戸内海の海洋環境総論～豊かな海づくりのために～」

広島大学 名誉教授 松田 治 氏

「瀬戸内海における環境政策」

環境省水・大気環境局海洋環境課海域環境管理室

室長補佐(統括) 森川 政人 氏

「プラスチック汚染の実態解明に向けた市民科学の可能性」

同志社大学経済学部 准教授 原田 禎夫 氏

「瀬戸内海の環境変動と生態系の応答」

愛媛大学先端研究院 URA・准教授 吉江 直樹 氏

「愛媛県における水環境保全の取組み」

愛媛県県民環境部環境局環境・ゼロカーボン推進課大気・水環境グループ

担当係長 吉留 竜仁 氏

- ・現地研修（視察）

「瀬戸内海のエコツーリズムで学ぶ～来島海峡の歴史と魅力～」

（一社）瀬戸内海エコツーリズム協議会

講義「来島海峡について」：代表理事 上嶋 英機 氏

案内：協議会事務局、NPO法人自然環境ネットワーク SAREN、

今治地方観光ボランティアガイドの会

- ・ワークショップ

研修生を4つの班に分け、「景観保全、海洋ごみ対策とツーリズム」をテーマに班別討議し、その後、全体討議を行った。



講 義



講 義



現地研修（亀老山展望台公園/来島海峡説明）



現地研修（来島海峡海上交通センター）



ワークショップ（班別討議）



ワークショップ（全体討議）

イ 瀬戸内海的环境保全に関する各団体合同研修会の開催（昭和53年度～）

当協会設立の原動力の一つである環境衛生団体と連携を継続・維持していくため、同団体の合同研修会を共同で開催した。

- ・ 主催：（公社）瀬戸内海環境保全協会、瀬戸内海環境保全地区組織会議、
（一財）広島県環境保健協会
- ・ 後援：広島県
- ・ 日時：令和6年10月18日（金）
- ・ 場所：R C C文化センター（エールエールA館 6階）
（広島市南区松原町9-1）
- ・ 参加人数：63名
- ・ 講演：「瀬戸内海のこれまでとこれから
～豊かな海にするためにできること～」
広島大学名誉教授
NPO法人里海づくり研究会 理事長 松田 治 氏
- ・ 体験交流・意見交換
 - 1) 広島県 坂町公衛協の活動について
坂町公衆衛生推進協議会（坂町）
 - 2) 北九州市 牧山東地区を流れる天籟寺川における取り組み
みんなで天籟寺川を美しくする会（戸畑区）
 - 3) 広島県 くれ環境市民の会の活動紹介
くれ環境市民の会（呉市）
 - 4) 広島県 広島県における海洋プラスチックごみ対策
～2050年 瀬戸内海に新たに流出するプラスチックごみの量“ゼロ”を目指して～

広島県環境県民局環境保全課

ウ 瀬戸内海的环境保全に関する賛助会員等研修会の開催（平成6年度～）

当協会の賛助会員であり、ともに瀬戸内海的环境保全に取り組んでいる企業間のネットワークづくりの場として、企業ニーズを踏まえながら研修会を実施した。

研修内容は、前回の研修会参加者へのアンケート結果を踏まえ、賛助会員部会で検討を行い決定した。

- 1) 第1回研修会（見学）
 - ・ 日 時：令和6年10月25日（金）13:00～16:00
 - ・ 研修先：① 須磨ホール（研修会）
「これからの新しい水族館の在り方」
「キレイで豊かな海をつくるアマモ」
② 須磨海浜公園内（スマートゴミ箱「SmaGO」見学）
③ 神戸須磨シーワールド（施設見学）
 - ・ 参加人数：35名



講演 1



講演 2

※協会HPの会員専用ページに講演動画を公開(令和6年11月1日～12月31日)

2) 第2回研修会(座学)

テーマ：令和の里海づくりについて

- ・日 時：令和7年1月28日(火) 10:00～12:00
- ・場 所：スペースアルファ三宮 大会議室
- ・開催方式：Web参加が可能なハイブリッド方式
- ・内 容：基調講演

令和の里海づくりについて

森川 政人

(環境省水・大気環境局海洋環境課海域環境管理室 室長補佐)

事例発表

- ①磯焼け対策(アイゴ捕獲)による好循環なビジネスモデルの確立

中島 均(防府市藻場造成による豊かな里海づくり協議会)

- ②海の中に森をつくる～持続可能な里海づくり～

神田 優(おおつき里海づくり協議会 NPO法人黒潮実感センター 理事長)

- ③おらが海を町の財産に～官民協働で町の産業を活性化
する持続可能な藻場再生活動～

大場 理幹(NPO法人おおつちのあそび 事務局長)

- ・参加人数：会場参加 12名、Web参加 85名 計 97名

エ 特別講演会の開催

令和6年度定時総会の終了後、同じ会場で特別講演会を開催した。

(Web参加が可のハイブリッド開催)

- ・日 時：令和6年5月27日(月) 15:30～17:00
- ・場 所：神戸市教育会館 大ホール
- ・演 題：栄養塩類管理施策に関する一般市民の意識調査及び課題分析

- ・ 講 師：上原 拓郎 立命館大学政策科学部教授
- ・ 参加人数：会場参加 18名、Web参加 59名 計 77名

④環境保全事業への参加・協力

ア 会員等主催事業への参加・支援

会員等が主催する環境イベントでの共催や後援、瀬戸内海の環境保全に係るパネル（里海・海ごみ等）の貸し出しや展示等を行い、瀬戸内海の環境保全の普及・広報に努めた。

- イ) 特定非営利活動法人瀬戸内海研究会議が主催する「令和6年度瀬戸内海研究フォーラム in 大阪（令和6年8月28日（水））」に協賛
- ロ) 北九州市環境衛生総連合会が主催する「第61回北九州市環境衛生大会（令和6年10月11日（金）」の後援
- ハ) 広島県公衆衛生大会の後援（令和6年11月22日（金））
- ニ) 環境と健康のポスター・標語コンクールの（一財）広島県環境保健協会との共催（令和6年11月22日（金））
- ホ) 特定非営利活動法人瀬戸内海研究会議が主催する「令和6年度瀬戸内海の環境保全・創造研究ワークショップ（令和6年12月13日（金）」の後援
- ヘ) パネルの貸し出し、電子データの使用許諾

団体名	目 的【開催地】	時 期	区 分	内 容
ナガセケムテックス(株)	社内向けH Pにパネルデータを掲載 【兵庫県たつの市】	令和6年6月1日（土）～6月30日（日）	電子データの使用許諾	気候変動、スナメリ、海ごみ、アマモ等のパネルデータ
三菱電機(株)系統変電システム製作所赤穂工場	会社行事に合わせて環境教育を実施 【兵庫県赤穂市】	令和6年6月2日（日）～6月22日（土）	電子データの使用許諾	海ごみ、アマモのパネルデータ
大分県	第36回全国なぎさシンポジウムin大分 【大分県大分市】	令和6年10月7日（月）～10月8日（火）	パネルの貸し出し	令和6年度瀬戸内海環境保全推進ポスターの原画等
環境省中国地方環境事務所	環境イベント（くらしき環境フェア2024）での啓発グッズに使用 【岡山県倉敷市】	令和6年10月13日（日）	電子データの使用許諾	令和6年度瀬戸内海環境保全推進ポスターの画像データ

イ 環境NGO・NPO等との連携・支援

瀬戸内海の環境保全等に努める環境NGO・NPOとの連携や支援を行った。

1) 後援名義使用の承認

- ・ 3 海峡クリーンアップ大作戦（鳴門海峡・紀淡海峡・明石海峡）の後援
海岸清掃：令和6年10月26日（土）
パネル展：令和6年12月1日（日）～令和7年3月28日（金）
（兵庫県・徳島県内の公共施設または大型商業施設で開催）
- ・ 大阪湾フォーラム
開催日：令和7年3月8日（土）～令和7年3月9日（日）
会 場：（3月8日）岸和田市立公民館（岸和田市堺町1-1）
（3月9日）きしわだ自然資料館（岸和田市堺町6-5）

⑤瀬戸内海の理解と魅力向上事業（令和4年度～）

Web 上で瀬戸内海について知ってもらい、その魅力を感じてもらうために、特定非営利活動法人瀬戸内海研究会議に委託して作成した環境教育用テキストの素材を編集した、「瀬戸内海の理解と魅力向上『Web 学習テキスト』」を協会 HP に掲載し、周知を行った。

⑥瀬戸内海環境保全に関する関係府県市・団体との連携

ア 瀬戸内海再生に向けた取組みの推進

瀬戸内海環境保全特別措置法の基本理念に基づき、豊かで美しい瀬戸内海の実現をめざし、瀬戸内海環境保全知事・市長会議等と連携して、瀬戸内海の広域的な課題の解決に向けた調査・研究に取り組むための国に対する提案や種々の取組みを進めた。

イ 国に対する提案(昭和52年度～)

栄養塩の適正管理や藻場、干潟の保全等、単独の府県だけでは取り組めない瀬戸内海の広域的な課題の解決に向けた調査・研究に取り組むため、国に提案を行った。

- ・ 提案先：環境省(24人)、水産庁(12人)、財務省(23人)、国土交通省(27人)
計86人

（提案事項）

・ 施策の推進

- (1) 漁業が持続可能な豊かな海づくりのための湾・灘ごと等の地域の実情に応じたきめ細やかな栄養塩類の管理手法や順応的管理の考え方に基づく取組の推進方策、評価手法の具体化及び財政支援
- (2) 藻場、干潟等の浅場の整備、環境配慮型護岸の整備、底質の改善、赤潮防止対策の推進及び財政支援
- (3) 水質浄化・物質循環に寄与する二枚貝等の増殖対策の推進
- (4) 瀬戸内海の自然景観と文化的景観の保全と再生に向けた取組（自然、文化、歴史等の既存の情報収集とその広報活動を含む）

- (5)瀬戸内海特有の景観を活用し、エコツーリズム推進法に基づいたエコツーリズムを行うことにより、島しょ部等地域が持つ特有の文化、魅力の再評価及び地域の活性化、課題解決を図る事業の推進方策、評価手法の具体化及び財政支援
- (6)多様な主体と連携した海ごみ（漂着、漂流及び海底ごみ）の現状把握、回収、流入防止や発生抑制も含めた対策の推進及び財政支援
- (7)里海や豊かな海に関する一般市民の認知、理解及び意識、行動の変革の推進
- (8)瀬戸内海の環境保全・再生・創出のための普及活動、環境教育・環境学習事業及び参加型環境保全活動事業並びに新たな視点での水環境を基調とした海文化を通じた環境啓発事業の推進
- (9)地域で活動している NPO 団体との連携による地域づくり活動の実施体制の構築（指導者やボランティアの育成）及び活性化

・調査・研究

- (10) 豊かな海づくりのための栄養塩類の管理と生物の多様性・水産資源の持続的な利用の確保に係る栄養塩類の働きを踏まえた高次生態系モデルの構築に関する調査・研究及び生態系データの共有化
- (11) 施肥及び下水処理場の管理運転等による栄養塩類供給手法が海藻や貝類等の生物の成長及び水産資源等に与える影響に関する調査・研究
- (12) 栄養塩類管理のための各湾灘の実態に応じた栄養塩類供給措置以外の手法（流況改善等）に関する改善方策及び改善効果の調査・研究
- (13) 赤潮や貝毒に係る有害・有毒プランクトンの発生と防除に関する調査・研究
- (14) 藻場・干潟の機能と造成効果に関する調査・研究（藻場・干潟の生態系に取り込まれたブルーカーボンに関するものを含む）
- (15) 水温上昇により助長される貧酸素水塊の発生要因の解明、改善方策に関する調査・研究
- (16) 瀬戸内海の環境データの収集とデータベース機能の充実（特に生物、藻場、干潟等の自然環境情報）及び瀬戸内海環境情報基本調査の継続実施
- (17) 瀬戸内海の沿岸域での良好な環境の保全、失われた環境の修復・創造に関する調査・研究
- (18) 気候変動や高蓄積性・難分解性の有害化学物質及び物質循環低下の影響並びに栄養塩類管理、生物多様性・生物生産性確保の観点でその影響を予測する瀬戸内海の環境モデルの開発に関する調査・研究
- (19) 多様な主体と連携した海ごみ（特に海洋プラスチックごみ）の流入実態把握、効果的な流入防止対策、発生抑制への取組みに関する調査・研究
- (20) 里海や豊かな海に関する一般市民の認知、理解の現状把握及び向上に関する調査・研究
- (21) 特定非営利活動法人瀬戸内海研究会議の調査・研究及び普及・教育活動に対する支援

ウ 賛助会員の加入促進

協会の目的に賛同する企業等の賛助会員加入の促進を図るため、研修会の充実やセミナー等での広報に努めた。

また、次の措置を行った。

- ・ 賛助会員が瀬戸内海環境保全トレーニングプログラムに参加する際の旅費の半額補助

エ 瀬戸内海研究会議に対する支援・協力

特定非営利活動法人瀬戸内海研究会議（平成25年4月1日設立）の事務局を担うとともに、研究会議が行う事業の運営推進について支援・協力を行った。

- ・瀬戸内海研究フォーラム in 大阪（令和6年8月28日（水））に協賛し、企画・準備・運営ならびに現地開催を支援した。
- ・瀬戸内海の環境保全・創造研究ワークショップ※（令和6年12月13日（金））の後援、開催協力

※:ワークショップのテーマ

きれいで豊かな瀬戸内海の実現を支える研究の最前線

（瀬戸内海研究会議は、これまで瀬戸内海的环境について長期的短期的な視点から毎年様々なテーマでワークショップを開催している。）

オ 国際的な活動への協力

（公財）国際エメックスセンターが行う国際的な行事について協力を行った。

(2) 情報共有・発信事業

瀬戸内海の環境保全にかかる現状や、瀬戸内海のあり方、行政施策に関する情報を収集し、今後の施策や事業の連携、協調を図るため、府県市、漁業団体、環境衛生団体等の会員をはじめ、関係する市民等に広く情報を発信し共有した。

①総合誌「瀬戸内海」の発行・配布（平成6年度～）

瀬戸内海の自然・社会・人文科学の総合誌「瀬戸内海」を発行・配布するとともに協会ホームページに会員限定で掲載した。

- ・発行回数：年2回

第88号：令和6年9月発行 350部

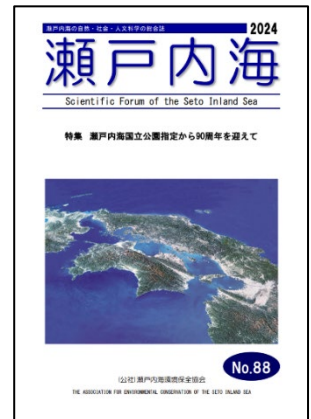
特集 瀬戸内海国立公園指定から90周年を迎えて

第89号：令和7年3月発行 350部

特集 日本海と瀬戸内海を繋ぐ関門海峡

- ・無償配布：会員団体（冊子）
- ・有償配布：年間購読者等（冊子）

年間購読料 2,500円（税込み）



「瀬戸内海」第88号

②資料集「瀬戸内海の環境保全－令和6年度版－」の作成（昭和53年度～）

瀬戸内海に関連する各種資料をとりまとめ、資料集「瀬戸内海の環境保全－令和6年度版－」を作成しホームページに掲載した。（1年間は会員のみアクセスを限定）

③協会ホームページによる情報の発信（平成10年度～）

瀬戸内海の環境保全に関する情報等を広く一般の方も容易に入手できるよう情

報発信を行った。

④メールマガジンによる情報の発信(平成23年度～)

会員府県市、漁業団体、環境衛生団体及び協会が有するトピックスを収集し、情報共有や施策立案等だけでなく会員を通じた普及啓発に資する情報発信を行った。

2 瀬戸内海的环境保全・創造に関する調査・研究事業

(1)調査・研究事業

豊かで美しい瀬戸内海の実現に資する調査・研究事業について、外部資金の獲得を目指した活動を行う。令和6年度は次の事業を兵庫県から受託した。

ひょうごの海を活用したブルーカーボンの創出業務(令和6年度：兵庫県委託)

2050年カーボンニュートラルに向けて、新たなCO₂吸収源として、海藻や海草の藻場などのブルーカーボン生態系が注目されている。

本業務では、本県が全国トップクラスの生産量を誇る養殖ノリに着目し、ブルーカーボンとしての可能性を検討するとともに、ノリの製造過程におけるCO₂排出量を把握し、養殖ノリの生産・製造過程でのCO₂排出量削減への取組を促進することにより「兵庫のり」のブランディングを模索した。

また、藻場等の再生・創出を促進するため、学識者、地域団体、事業者、行政等からなる連絡会議を開催し、「兵庫県におけるアマモ場再生・創出ガイドブック」を作成した。

II 一般事項

1 会議等の開催

(1)総会

①定時総会(令和6年5月27日(月) 神戸市教育会館 大ホール)

- ・令和5年度事業報告及び決算
- ・会費の額
- ・国に対する提案
- ・理事の選任
- ・令和6年度事業計画及び収支予算

(2)理事会

総会付議事項及び業務の執行に関する事項を協議した。

①第24回理事会(令和6年5月10日(木) 神戸市立中央区文化センター)

- ・専門委員の選任
- ・定時総会付議事項

②第25回理事会(令和7年3月13日(木) スペースアルファ三宮)

- ・令和6年度事業実施状況
- ・令和7年度事業計画案及び収支予算案

(3) 専門委員会等

① 企画委員会

第1回企画委員会（令和6年8月1日（水） 神戸市立中央区文化センター）

- ・ 設立50周年記念事業（案）
- ・ 事業の見直しに係る削減（案）

第2回企画委員会（令和6年11月28日（木） 神戸市立中央区文化センター）

- ・ 令和6年度事業実施状況
- ・ 設立50周年記念事業アンケート（案）
- ・ 事業の見直しに係るアンケート（案）
- ・ 令和7年度事業計画案（素案）など

第3回企画委員会（令和7年2月17日（月） 神戸市立中央区文化センター）

- ・ 令和6年度事業実施状況
- ・ 設立50周年記念事業アンケート結果
- ・ 事業の見直しに係るアンケート結果
- ・ 令和7年度事業計画（案）及び収支予算書(案)など

② 編集委員会

協会が発行する「瀬戸内海」の編集方針を定めるとともに、特集テーマや掲載内容及び執筆者等の検討を行った。

第1回編集委員会（令和6年10月1日（火） 神戸市立中央区文化センター）

- ・ 「瀬戸内海」89号（令和7年3月発行予定）の原稿収集について
- ・ 「瀬戸内海」90号（令和7年9月発行予定）の特集について

第2回編集委員会（令和7年3月4日（火） 神戸市立中央区文化センター）

- ・ 「瀬戸内海」89号（令和7年3月発行予定）の編集状況について
- ・ 「瀬戸内海」90号（令和7年9月発行予定）の原稿収集について

③ 賛助会員部会

協会活動に対する賛助会員の積極的な参画と賛助会員に係る事業の検討・企画を行った。

第1回賛助会員部会（令和6年8月22日（木） 神戸市立中央区文化センター）

- ・ 令和6年度賛助会員に関する事業等について

第2回賛助会員部会（令和7年2月18日（火） 国際健康開発センタービル）

(4) 参事・事務局長並びに担当課長会議（令和7年2月26日（水）

神戸市立中央区文化センター）

会員に対する協会事業の理解と周知を図るとともに、事業活性化のため、会員相互の情報交換等を行う。

2 専門委員の委嘱

企画委員、編集委員、賛助会員部会委員を委嘱した。

(1) 企画委員 (13名)

橋田 学	大阪府環境農林水産部環境管理室環境保全課長
山本竜一	兵庫県環境部水大気課長
秋山日登美	広島県環境県民局環境保全課長
中西正光	香川県環境森林部環境管理課長
嶋崎 晃	大分県生活環境部環境保全課長
大谷直人	大阪市環境局環境管理部土壌水質担当課長
中西寛光	神戸市環境局環境保全課長
小澤哲也	寝屋川市環境部次長兼環境保全課長
重見大作	松山市環境部環境指導課長
末富武志	山口県漁業協同組合指導部次長
山崎 亮	愛媛県漁業協同組合参事兼経営企画部長
中村博信	(一財) 広島県環境保健協会地域活動支援センター長
河本英一	(公社) 山口県快適環境づくり連合会事務局長

(2) 編集委員 (10名)

井上尚和	(株)神戸製鋼所安全・環境部シニアプロフェッショナル
中西正光	香川県環境森林部環境管理課長
森川政人	環境省水・大気環境局海洋環境課海域環境管理室室長補佐
佐山 浩	関西学院大学総合政策学部教授
山本竜一	兵庫県環境部水大気課長 (瀬戸内海環境保全知事・市長会議事務局長)
五利江重昭	兵庫県立農林水産技術総合センター内水面漁業センター所長
住田典子	(一財) 広島県環境保健協会地域支援課長
藤原建紀	京都大学名誉教授
滝本恵介	関西電力(株) 火力事業本部火力運営部門発電グループ チーフマネジャー
鷲尾圭司	NPO法人里海づくり研究会議副理事長・日本伝統食品 研究会会長 (独立行政法人水産大学校 元理事長)

(3) 賛助会員部会委員 (7名)

滝本恵介	関西電力(株) 火力事業本部火力運営部門発電グループチーフマネジャー
西山友世	川崎重工業(株) 環境・エネルギー管理部環境エネルギー推進課基幹職
泥 俊和	(株)神戸製鋼所 理事兼安全・環境部長
中西浩之	四国電力(株) 立地環境部環境グループ グループリーダー
小野 健	いであ(株)大阪支社 環境技術部長
磯野直博	大塚製薬(株) 徳島本部環境課長
佐守広志	山口県瀬戸内海環境保全協会 (株)トクヤマ 徳山製造所 環境安全部環境管理課長)